

志 学 報

大阪大谷大学教育後援会会報

第57号

大阪府富田林市錦織北3丁目11-1
電話 (0721) 24-0381

ご 挨拶

教育後援会会長 井上 彰人



教育後援会会員のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は本学教育後援会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

5月17日に開催されました「令和7年度大阪大谷大学教育後援会総会」にて、浅尾学長よりご推薦をいただき、みなさまのご承認を受けまして、このたび教育後援会会長の任を務めさせて頂くこととなりました。

このような大任をお受けすることとなり、身の引き締まる思いと教育後援会ならびに大学の発展向上のため出来る限りの力を注いでまいります。役員のみなさま、会員のみなさま、そして大学に関わるみなさまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の蔓延も過去のことと感じられるようになってきた昨今ですが、大学の日常の姿を見ていまして、平穩に時間が流れているように感じております。教育後援会におきましては、昨年度、夏に実施をしました「日帰り研修」を熱中症予防の観点から秋以降に変更をさせていただきます。日程につきましては決定次第お知らせさせていただきますので、役員のみなさまは今しばらくお待ちくださいませ。

また、今年度の志学祭にも教育後援会として出店を予定しております。昨年度と同様、前会長の溝脇様のお力をお借りして、手作りスマートボールとお菓子すくいなどを計画しております。役員一同、志学祭に訪れたみなさまに楽しんでいただけるよう、役員自身も楽しかったと感じられるような行事にしたいと考えております。是非ともみなさまも会場へ足をお運びいただき志学祭の雰囲気味わっていただけたらと思います。

最後になりましたが、大阪大谷大学教育後援会の益々の発展と会員のみなさま、ご子息、ご息女のご健勝とご多幸を祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

ご 挨拶

学校法人大谷学園 理事長 左藤 章



教育後援会の皆様におかれましては、平素より大阪大谷大学の教育活動に対し格別のご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

学校法人大谷学園は南御堂にて創立されて以来116年、大阪大谷大学は志学台にて開学から59年を迎えます。19年前には薬学部を開設し、男女共学の新たな一步を踏み出しました。長きにわたり発展を続けられましたのも、ひとえに皆様の温かいご支援のおかげであり、深く感謝申し上げます。

2020年からの新型コロナウイルス感染症の流行により、教育や学生生活は大きな影響を受けましたが、2023年5月以降は日常を取り戻し、大学祭「志学祭」も盛大に開催できるようになりました。学生たちの活気に満ちた姿は、本学の原動力であり、これも教育後援会の皆様をはじめ、卒業生や教職員のご尽力の賜物でございます。

本学では、教職員が一丸となり、きめ細やかな教育を行うことで、全国平均を上回る就職率（特に教員採用は近畿圏トップクラス）を維持しております。学生一人ひとりの学びの成果が確実に表れており、教職員の日々の研鑽の積み重ねに心から敬意を表します。

また、本学はこれからも学部・学科・コースの特色をさらに磨き上げ、高大連携を強化し地域と共生し、魅力ある教育環境の整備に努めてまいります。学生募集や広報活動においても、新しい時代にふさわしい取り組みを進めており、その成果が着実に形となりつつあります。

国際社会が大きく変化する現代において、私たちが大切にすべきは「他者を思いやる心」です。本学の「報恩感謝」という建学の精神のもと、社会に貢献し、人々から信頼される人材の育成に引き続き全力で取り組んでまいります。

来年は、大阪大谷大学創立60周年という大きな節目を迎えます。新たな歴史のスタートラインに立ち、これからも地域と社会に貢献する大学として発展してまいりますので、教育後援会の皆様におかれまして、引き続き温かい御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

ご 挨 拶

大阪大谷大学 学長 浅尾 広良



教育後援会の皆様におかれては、平素より大阪大谷大学の教育・研究活動に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学は今、いくつもの団体や大学、企業、地方自治体との連携協力を進めています。昨年から今年にかけては、新たに薬学部が奈良県薬剤師会および柏原市薬剤師会と包括連携協定を結びました。

こうした連携がどのような成果を上げているのかについて一例を紹介します。昨年7月に、本学は阪南大学、UR都市機構、富田林市の4者で富田林市の金剛地区のエリア活性化に向けた包括連携協定（KLLP）を締結しました。初年度の取組として7つのプロジェクトを起しました。①「SDGs グローバル指標のローカル化学習プロジェクト」②「子どもの権利学習プロジェクト」③「多文化共生サポートプロジェクト」④「学びの場創出プロジェクト」⑤「地域教材作成プロジェクト」⑥「住民の自己充足度を調査するプロジェクト」⑦「プレーパークへの参画」です。いずれも、本学の教員と学生が地域に飛び込み、地域の人々と関わりながら、地域の課題解決に取り組んだ意欲的な活動となりました。学生諸君にとっては、実践を通して学ぶ貴重な機会となっています。本学は、これからもこうした連携により、大学単体では体験できない実践的な学びの場を提供しながら、本学の教育理念である「自立・創造・共生」を実現できるように、努力してまいります。教育後援会の皆様には、こうした取組についてご理解をいただくとともに、本学の更なる充実に向けての忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

もう一つ、大きなトピックがあります。本学は今年から富田林市のふるさと納税の寄付対象となりました。ふるさと納税は、支払った分のお金が税金として支払う分から控除されるので、実質持ちだしゼロで寄付をすることができます。寄付いただいたお金は、地域貢献活動や、課外活動の支援、教育・研究環境の整備や国際交流など、学生達の学びや活動の支援として使わせてもらいますので、是非この機会に寄付をお願いしたいと思います。

ご 挨 拶

人間社会学部長 中村 雅司



大阪大谷大学教育後援会の皆様方におかれましては、平素より本学の教育・研究活動に多大なご協力とご支援を賜っている点について、まずは厚く御礼申し上げます。

大学をはじめとした高等教育機関では、以前より自己点検評価活動が求められており、本学においても教育活動や大学運営に関してその効果を検証し、改善に繋げていく活動が行われています。コロナ禍において導入された多様な教育方法も、教育の価値を高めるための側面から現在でも一部残されており、それが教育のDX化につながっているところです。

この場を拝借して、人間社会学部について紹介いたします。人と社会を科学的に探究する学部として2005年に開設して以降20年が経過しました。一貫して、知識と実践力を身につけるためのバランスと体系性を考慮し、初年次教育とキャリア教育を重視した教育課程を構築しています。その間、社会情勢や受験者のニーズに合わせ、人間社会学科一学科体制から、2012年にスポーツ健康学科、2024年に心理・福祉学科を発足させ、現在では3学科構成となっています。

心理・福祉学科は、開設2年目ながらも着実に社会への認知が広まっており、とりわけ社会福祉士国家試験受験資格課程と公認心理師の学部課程の双方を備える数少ない学科である点で、近隣大学にはない魅力を持っています。スポーツ健康学科は、スポーツそのもののほか、競技の指導法やスポーツを通したマネジメントを学べる学科として、毎年多くの入学者を確保しています。一方、人間社会学科は、2024年に現代社会・経営・データサイエンスの3コース体制に移行しましたが、学生募集上では苦戦を強いられており、他学部・他学科との協働も含めた教育内容の見直しについて検討を重ねているところです。

教育後援会の皆様方

には、今後とも本学ならびに本学部の教育・研究活動にさらなるご理解をいただくとともに、一層のご支援を賜れば幸甚に存じます。



学生生活について

学生部長 松原 裕一



教育後援会の皆様におかれましては、平素より本学の教育・研究活動、ならびに課外活動を含む学生生活全般に多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年で第60回を迎える志学祭は、学生と地域に支えられてきた伝統ある大学祭です。今年は「環(めぐる)」をテーマとし、大学祭実行委員会の学生たちは、多彩な企画をご用意してみなさまをお待ちしております。

コロナ禍では動画配信となっていた学生厚生補導講演会を、今年度は6月に対面で実施いたしました。講師には公立中学校の保健体育教諭を経てガンバ大阪でスカウトやアカデミー本部長として育成の基盤を築き、現職はバリュエンスホールディングス株式会社社長室シニアスペシャリストとして活躍されている二宮博氏をお迎えし、「一流の共通点ー成功を呼ぶ10の人間力ー」と題し、約27年にわたる現場経験をもとに、『正しい前向きな考え方×環境(運)×誰にも負けない努力』という方程式を軸に、一流へと導く思考・

環境づくり・努力の方法を具体例とともに示していただき、学生が二度とない大学生活をより豊かにするために自らの未来を真剣に見つめ直す機会となりました。

特に厚いご支援をいただいております課外活動においては、体育会系では男子バレーボール部の2名が「全日本ビーチバレーボールU23男女選抜優勝大会」に出場し、高い競技力を示しました。文化系では、ボランティアサークルが富田林市と連携し、地域に根差した活動を継続的に展開しています。日本の誇る伝統文化を学ぶ「和装礼法装道部」は、今年度も世界大会へ毎年出場しています。

学生生活の相談体制として、授業に関する相談はアクセスルーム、心身の健康に関する相談は保健室・学生相談室で受け付けています。

学生部一同、学生の皆さんが安全で豊かな大学生活を送れるよう、引き続き多面的に取り組んでまいります。今後とも温かいご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



多様な進路の実現を強力に支援

キャリアセンター長 藤原 崇



教育後援会の皆様には、平素よりキャリアセンターの進路決定・就職活動支援にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年3月に本学を卒業した学生の就職決定率は「98.3%」と昨年の水準(97.8%)を上回る高水準を維持し、全国の統計調査値「98.0%」を上回りました。また教員採用試験の突破率も年々向上しております。ひとえに学生の頑張りと教職員の支援、保護者の方々の温かい支えの賜物です。この場をお借りして御礼申し上げます。

本学は規模に比して多様な学部を持つ総合大学であり、学生の志望進路も、民間企業だけではなく、教員、公務員や薬剤師を初めとする専門資格を活かした職業など多岐にわたります。各学部・各学科の独自の取組、教職教育センター等専門機関との連携を深めつつ、キャリアセンターが展開する「キャリア教育科目」「キャリア支援行事」「個別相談」の3つを軸に、学生の多様な進路実現につなげています。就職決定率の高さと個々の学生の希望に応じた、多様な進路実

現を支えることが本学キャリア支援の最大の特徴です。

昨今は、少子高齢化と企業の旺盛な採用意欲を受けて、採用活動の早期化が民間企業で進んでおり、3年生からの就職活動開始が当たり前になり、結果長期化する学生も増えています。教員採用試験の3年生受験も広がり、公務員などの採用試験もその影響を受けています。保護者の方が経験された時代とは大きく様変わりしており、数年前の常識も通用しない状況が昨今の就活事情では見られます。最新の情報や状況に対応するためには、大学の支援を最大限活用することが重要になってきています。本学では、1年次からの体系的な「キャリア教育科目」により早期からのキャリア意識付けとインターンシップや適性検査への対応を学べる「キャリア支援行事」で実践サポートを展開し、それらを時代に合わせて見直してきています。

これらの取組を基盤に学生が希望の進路に進むためには、皆様もご理解とご協力が必要になります。ご自宅の方には、保証人あての就活資料もお送りしておりますので、それらを活用してご家庭での進路への話し合いを深めて頂き、是非大学支援の活用を促して頂ければ幸いです。

時代の要請に応える教育にとどまらず、学生たちが社会で大きく羽ばたけるよう、社会の変化に対応したキャリア支援を今後も展開し続けて参りますので、引き続きのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2024年度卒 各学科就職決定率・取得できる主な資格免許



〈大学調べ〉 詳しいデータは大学ホームページの次のリンクからご参照ください。

[卒業\(修了\)者数、進学者数、就職者数、業種別就職状況〈大学〉](#)

卒業生の皆さまへ

第6回 Homecoming Day 開催

2025.11.8

大阪大谷大学では、卒業生の皆さまを思い出深いキャンパスにお招きし、懐かしい恩師や旧友の方々、また学生・教職員と交友いただく機会として「ホームカミングデー」を開催しています。今回は、卒業生以外の一般の方も参加できます。

今年度の開催日は、大学祭に合わせて、11月8日(土)に行います。

参加方法等詳しくは、大学ホームページでご確認ください。 <https://www.osaka-ohitani.ac.jp/>

令和7年度 総会開催

5月17日(土) 11時00分 於 大阪大谷大学4号館(志学館) 3階

標記総会が開催され、浅尾学長のご挨拶から始まり、①令和6年度決算報告並びに会計監査報告 ②令和7年度役員・委員の選出 ③令和7年度予算審議があり、すべて承認されました。続いて本年3月にご子息・ご息女が卒業された5名の役員の方々に浅尾学長から感謝状が贈呈され、無事に総会は終了しました。



令和7年度 教育後援会役員(敬称略) ※令和7年10月1日現在

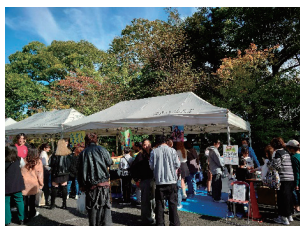
会 長	井上 彰人	常任幹事	北田 貴子	常任委員	中村 れい子	委 員	原 さをり
副 会 長	出口 信	常任幹事	長瀬 暁美	常任委員	木谷 美代香	委 員	平井 享子
副 会 長	中田 克子	常任幹事	秀坂 小牧	常任委員	津本 ちあき	委 員	池田 裕治
会 計	橋本 朋子	常任幹事	寺本 千佳	委 員	稲森 直子	委 員	池田 まどか
監 査	前山 仁美	常任委員	岡崎 睦恵	委 員	亀川 貴光	委 員	大浦 美穂
監 査	佐々木 紀子	常任委員	遠藤 佳子	委 員	笹木 有起	委 員	川本 久美

教育後援会役員の活動及び活動報告について

教育後援会は、大学の教育方針に則り、教育事業の後援や会員相互の親睦を図ることを目的とする活動を行っています。役員活動の内容としては、役員会・会合、研修会、大学祭出店参加などです。

昨年の大学祭は、コロナ禍以降の久しぶりの出店となりました。多くの学生や近隣の皆様に参加いただき、大盛況であった「お菓子すくい・輪投げ・スマートボールの遊び」の催しを、令和7年度も出店する予定です。また、12月の研修会では、本学が真宗大谷派関係学校であることから京都の真宗大谷派東本願寺の参拝他を計画しています。

昨年の
大学祭の
様子



教育後援会活動

Q & A

Q 教育後援会ってどんな会

A 皆様からお預かりした会費で学生たちを支援しています。(会報の発行、各学部への専門書などの購入費補助やクラブ活動費補助、大学運営に対する支援のほか各種の活動をしています)

Q 役員活動に興味はありますが、活動頻度によっては仕事の都合で参加できない場合もあるので、役員に参加してもいいのか悩みます。

A 会議・会合は2~3カ月に1回程度です。大学だけに限らず、ハルカスキャンパスで実施することもあります。会議等は、できる範囲でご協力いただければ結構ですので、予定がつかない日には欠席していただき、ご都合の良い時にご参加ください。

Q 役員経験がありませんが、参加してもよいのでしょうか。

A PTA活動などの経験がない方も多く参加されていますので、気楽に参加してください。



11月8日(土)・9日(日)に開催される大学祭(志学祭)当日における催し物として教育後援会からも出店いたします。多くの方のご来場ご来店をお待ちしております。

模擬店 『おかしすくい・ほかあそび』

内 容 お菓子すくい／輪投げ／スマートボール

教育後援会役員のご案内

教育後援会の趣旨にご賛同いただき、令和7年度教育後援会の運営にご参加いただける方を募っています。

参加・ご検討いただける場合や役員参加について質問がある場合は、以下のリンクもしくはQRコードを読み取っていただき、入力フォームから簡単な質問項目に入力のうえ、送信してください。

入力できない場合は、直接事務局にお問い合わせください。

<https://forms.office.com/r/bv3zgQVTkC>

問合せ先：教育後援会事務局(大阪大谷大学総務課)

TEL: 0721-24-0381

